

## 仕組み債による基金の運用状況 (平成21年10月末現在)

	総 額	うち運用額
財政調整基金	35億5 500万円	5億円
地域振興基金	8億6 000万円	4億3 000万円
その他基金	23億 100万円	-
合 計	67億1 600万円	9億3 000万円

基金残高総額 平成21年10月末(A)	仕組み債購入額 (B)	仕組み債の割合 (B/A)	受け取り利息 (平成21年10月末現在)
67億1 600万円	9億3 000万円	13.8%	5 090万円

# 基金の仕組み債による 運用について説明します

### 仕組み債とは？

固定利息付の日本国債や地方債といった一般的な債券とは違い、外国為替や一定期間で償還するなどの条件を組み入れた債券をいいます。

### なぜ、仕組み債を取り入れたのか？

平成17年4月から、金融機関が破綻した場合、元本1,000万円とその利息までしか払い戻しされなくなったこと(ペイオフ)への対応と、超低金利の時代に少しでも多くの運用益を得るために仕組み債を購入しました。

### 元本の保証は？

加東市が購入した仕組み債を発行している機関は、欧州の公的金融機関で、保証機関による保証も付加されており、その安全性は日本国債よりも高く評価されています。

昨年11月の新聞朝刊に「県内13市町「仕組み債」購入」と、「含み損」に関する記事が掲載され、加東市もその13市町の中に記載されていました。

そこで、市民のみなさまにこの仕組み債の内容と、運用の現状についてお知らせいたします。

また、一部は日本国債を原

資産として運用するもので、元本は保護されています。

### 金利は？

加東市の保有している債券は、最低でも年0.1%の金利があるように条件を設定しています。また、利息は「円」で支払われます。

### 期間は30年と長期ですが？

満期の期間は、最長30年ですが、受け取った利息が一定額に達した場合や、為替レートが基準の額以上の円安となったときには、期間満了を待たずに終了(償還)となります。償還額は、満額「円」で支払われます。

なお、昨年12月の為替の状況が継続すると仮定した場合、大部分の債券が10年から15年後には、元本が償還される見込みです。

### 市の財政への影響は？

この仕組み債で運用している基金額は、基金全体(平成21年度末見込み68.7億円)の14%未満の金額で、現金の運用において、支払準備金に支障のない範囲となっています。

### 含み損とは？

「含み損」とは、債券を中途解約や売却を行うとした場合の、購入価格と時価評価額の差額をいいます。

加東市は、すべての債券を満期まで保有する運用方針としており、購入価格で償還されます。実際に損失が発生しているものでも、また将来に損失が予測されるものでもありませんので、どうぞご安心ください。

### 問い合わせ

会計課(社庁舎)

☎43・0406

総務部財政課(社庁舎)

☎43・0413